

4年生国語科

☆教科書で紹介されている図書 ■おすすめセット文庫

月	単元名 『教材名』	時数	主な学習内容	参考図書
4	詩 詩を楽しもう 『春のうた』(草野心平)	2	・場面の様子や登場人物の気持ちや聞く人に伝わるように工夫して音読する。	■B12-1『子どものための詩の本シリーズ』 ■B12-2『金子みすゞ詩集・絵本のセット』 ■B12-3『しの絵本』
4	物語 1 音読げきをしよう 『白いぼうし』(あまみきみこ)	8	・まわりの様子や登場人物の気持ちを想像しながら読む。 ・役わりや読み方を相談してグループごとに音読する。	登場人物がふしぎな体験をする物語 ☆『オズの魔法使い』 ☆『くもりガラスのむこうには』 ☆『なきもしおにごっこ』 ☆『菜緒のふしぎ物語』 ■B02-06『絵本・日本の童話名作選宮沢賢治作品』 ■B02-46『ポプラポケット文庫 小学校中級向き』 ■B02-47『あまみきみこ童話集』
4	辞典 漢字の組み立て 漢字辞典の使い方	3	・漢字を部首とつくりにおいて、それぞれの特徴を知る。 ・漢字辞典の使い方を知り、漢字の部首や成り立ちや画数について知る。	一人一冊の漢字辞典
4	夏近し 『けやき』(みずかみかずよ) 小林一茶、角田竹治の俳句	1	・春から夏に移り変わる季節の言葉を集め、語彙を増やす。	
5	説明文 2 読んで、自分の考えをまとめよう 『大きな力を出す』(西島尚彦) 『動いて、考えて、また動く』(高野進)	10	・それぞれの段落はどのようにつながっているのか、事実や説明と筆者の考えとの関係を考えて読む。 ・何がどのように書かれているかをたしかめながら読む。 ・筆者が伝えたいことに対して自分の考えをまとめ文章に書く。	☆『あきらめないこと、それが冒険だ』 ☆『アホウドリに夢中』 ☆『ぼくは貝の夢をみる』 ☆『もういちど宙へ』 ■B04-27～29『ジュニア版NHKプロジェクトX』
5 ～ 6	報告文 3 調べたことを報告する文章を書こう 『読書生活について考えよう』	12	・アンケートの結果を表やグラフで表し、それをもとにして考えたことを報告文に書く。 ・調べることを決める。 ・アンケート調査をし、結果について考える。 ・報告書を作る。	児童が調べたいと考える項目についてあらかじめ調査し、必要な資料を準備する。
6	俳句 短歌 声に出して楽しもう 一茶・蕪村・芭蕉など	1	・文語調の短歌や俳句を音読したり、暗唱して日本語特有のリズムを感じ取る。	■D01-01『声に出して楽しんで読もう』
6	物語 4 物語を読んでしようかいいし 『一つの花』(今西祐行)	8	・物語の組み立てや表現のとくちょうをよく理解し、紹介したい理由が分かるように伝える。 ・物語の設定、人物の行動や会話に着目し、場面の人物の気持ちや世の中の様子、出来事を読み取る。 ・題名がついた理由を考える。 ・紹介の仕方を考えて「一つの花」を紹介する。	だれもが平和にくらせる世界をねがって書かれた本 ☆『おかあさんの紙びな』 ☆『おきなわ島のこえ』 ☆『まちゃんと』 ☆『ペドロの作文』 ☆『オットー』 ☆『チロヌップのきつね』 ☆『ひろしまのピカ』 ☆『せかいのひとびと』 ☆『せかいでいちばんつよい国』 ☆『すみれ島』 ☆『わすれないで』 ☆『山の学校の子どもたち』 ☆『彼岸花はきつねのかんざし』 ☆『平和の種をまく』 ■B02-23『平和を祈る三部作』 ■B02-28『語りつく戦争と平和(小学校向き)』 ■B02-54『戦争を知る絵本』 ■B02-55『世界 子ども平和図書館』 ■B02-56『子ども平和図書館』
7	夏さかん 『夏』(神沢利子)	1	・夏になると目にするものや、「夏」という言葉から思いつくものをたくさん書き出す。 ・「夏休み」「夏祭り」「盆おどり」のどれかをを使って、俳句を作る。	■A03-02『日本の年中行事』
7	新聞のとくちょうと作り方を 新聞を作ろう	5	・新聞の特徴を調べる。 ・学習したことや調べて分かったことを新聞にまとめる。 ・のせたい内容、記事の下書き、わり付けなどの過程を経て新聞に仕上げる。	子ども新聞等の新聞資料 ※学校で購読している新聞を保存しておく。 『新聞記者の仕事』(坂本竜彦ほか) 岩波書店 『みんなの新聞記者・学級新聞入門』全5巻(大沢和子ほか) ポプラ社
7	読書 物語 本は友達 『かげ』(ニコライ＝スラトコフ)	6	・どのような目的のために、どんなものを読んでいるかを考える。 ・本の種類による読み方のちがいを考える。 ・友だちに読んでもらいたいと思った本をポスターを作って紹介する。	☆『黒ねこサンゴロウシリーズ』(竹下文子) ☆『これだけは知っておきたい(33)ネコの常識』(服部幸 監修) ■B02-17『黒ねこサンゴロウの冒険』 ■B02-20『森の獣医さんの動物日記』
9	詩 詩を楽しもう 『忘れもの』 『ぼくは川』	2	・いいな、すきだなと想う言葉や表現を話し合う。 ・詩の表現の工夫を見つける。	■B12-01『金子みすゞ詩集・絵本セット』
9	説明文 報告文 5 調べて発表しよう だれもがかかわり合えるように <資料>『手と心で読む』(大島健甫) 発表のしかた	15	・資料を読んで自分の課題をもつ。 ・課題を解決するために、資料や調査をとおして調べ、まとめる。 ・調べながら工夫してメモを取り、整理して発表する。	『点字のひみつ』(田中ひろし) 同友館 『愛の点字図書館長 全盲をのりこえて日本点字図書館をつくった本間一夫』(池田澄子) 偕成社 『ブライユ目の見えない人が読み書きできる"点字"を発明したフランス人』(ピバリー＝パーチ) あすなる書房 ■A08-12『ボランティアに役立つはじめであら点字』 ■A08-16『手話(てことば)の本』 ■A08-29『点字のひみつ学校図書館用点字学習シリーズ全5巻』 ■B02-08『障害者を理解する本 読み物』
10	物語 『茂吉のねこ』(松谷みよこ)		・課題を選んで音読する。	■B02-01『にほんごであそぼう「齋藤孝」声にだすことばえほんシリーズ』
10	物語 1 読んで考えたことを話し合おう 『ごんぎつね』(新見南吉)	14	・登場人物の行動や気持ちの変化をとらえ、感じたことや考えたことを話し合う。 ・場面ごとに「ごん」と「兵十」の行動や気持ちについて考える。	■B02-40『新見南吉童話傑作選』 ■B02-41『絵本・新見南吉の世界』 ■C02-06『紙芝居・ほのぼの新見南吉ランド』 ☆『きつねの窓』 ☆『手ぶくろを買いに』

月	単元名 『教材名』	時数	主な学習内容	参考図書
			・くわしく読んだことをもとに、感じたことや考えたことを話し合う。 ・きつねが登場する物語を「ごんぎつね」とよみくらべる。	☆『きつねのホイテイ』 ☆『雪わたり』 ☆『キツネ』 ■B13-7『小学校4年生きつねが登場する物語』 ■B02-6『絵本・日本の童話名作選 宮沢賢治作品』 ■A03-02『日本の年中行事』
10	秋深し 『果物』（八木重吉）、蕪村他	1	・見つけた「秋」のことを初めにおいて、だれかに手紙を書く。	
10	2 説明のしかたについて考えよう	8	・段落どうしの関係に注意して読み、筆者が、何をどのように説明しているかを考える。 ・説明のしかたについて考えよう	『小学生のためのデジタルカメラ』（齋藤洋一）日系BPプレス 新聞、雑誌などの印刷物 ■A02-9『目でみる マスコミとくらし百科』
11	『アップとルーズで伝える』 (中谷日出)			
11	写真と文章で説明しよう 「仕事リーフレット」を作ろう	7 書⑦	・働く人に取材して、仕事の内容などを写真と文章で伝える写真リーフレットを作る。 ・取材する人を決め、質問の内容を決め、インタビューする。 ・取材したことをもとに、写真と組み合わせて文章をまとめる。	『調べ学習ガイドブック』（神林照男／監修）ポプラ社 『情報の選び方・使い方1～5』（中村司／監修）ポプラ社 ■A01-8～15『知りたい！なりたい！職業ガイド』 『写真は心で撮ろう』<石川文洋> 『ぼくは写真家になる！』太田順一 『アリのなったカメラマン 昆虫写真家 栗林慧』栗林慧
11	俳句 短歌 声に出して楽しもう 子規・虚子・啄木など	1	・文語調の俳句や短歌を音読して、日本語のリズムを楽しむ。	
11	物語 3 物語を読んで、感想文を書こう 『三つのお願い』 (ルンルン＝クリフトン) 〈資料〉『やさしい心』(村上友理)	9	・作品の特徴をとらえ、感想文を書く。 ・登場人物がどんなことをしたかをとらえる。 ・初め・中・終わりのつながりをもたせ、組み立てを考えて感想文を書く。	☆『ピトウスの動物園』（サバステリア＝スリバス） ■B10-1～9 『25さいをすぎた海外の絵本』
12	詩 詩を楽しもう 『のはらうた』（工藤直子）	2	・野原の任人は、季節ごとにどんなことを考えたり思ったりしているのか、詩を読んで楽しむ。 ・好きな詩を読み、感じたことを発表する。	■E05-01『版画のはらうた』（工藤直子） ☆『のはらうた1～5』（工藤直子）童話屋
1	詩 詩を書こう 野原の仲間になって	4	・野原のだれかになって、感じたことや思ったことを詩に表す。 ・学級のクラスの詩を集め、「のはらうた詩集」を作る。	
1	春立つ	1	・身の回りの立春の様子を絵や言葉で表す。	■A03-02『日本の年中行事』 ■A03-05『沖縄まるごと大百科』
1	1 説明文 4 科学読み物しようかいしよう 『ウナギのなぞを追って』 (塚本勝巳)	10	・事実と考えの記述に気をつけて調査の道すじを読み、興味をもったところを中心に要約する。 ・感想の中心にそって、大事なことを書き出しながら、詳しく読む。 ・自分の感想に沿った紹介のために、本文を要約して紹介文を書く。 ・本や新聞などを読んで、「科学っておもしろい」を思うことを内容を要約して、紹介文を書く。	☆『ミミズが鳴くってほんとう？』 ☆『ゾウの長い鼻には、おどろきのわけがある』 ☆『ノラネコの研究』 ☆『ハリセンボンがふくらんだ』 ☆『モグラのもんだいモグラのもんく』
2	読み聞かせ 聞いて楽しもう 『額に柿の木』	1	・人物や場面の様子を思い浮かべながら、昔話を聞く。 ・話の面白さを話し合い、同じように楽しめる話を紹介する。	■C02-07『紙芝居・おおわらい落語劇場』 ■B11-01『落語を生んだ江戸の笑い話・こわい話』 ■B11-02『らくご長屋シリーズ』 ■B11-03『こども古典落語』 ■B11-04『お笑い！大喜利 何々とかけて何ととく？』 ■B11-06『落語絵本』
2	ことわざ 5 調べて、まとめて、読み合おう 「ことわざブック」を作ろう	15	・ことわざを調べて、その意味を知る。 ・ことわざや故事成語を集めて、本を作る。 ・同じ特徴をもつことわざを集めて、意味を調べる。 ・集めたことわざを使って、自分なりのアイデアで本の中身を作る。 ・目次、初めに、終わりに書いて、本の形にする。 ・読みあって感想を交流する。	■A17-01『ことわざ・俳句』 ■A17-04『語彙力アップ おもしろ言葉がいっぱい』 ■A17-05『ことわざの探検』 ■A17-07『ことわざの学校』
3	物語 6 作品のひみつをさがろう 『初雪のふる日』（安房直子）	10	・読み終わったときに心に残る感じは、どこから来るのか、場面の様子を表す言葉や表現に着目して読む。 ・場面ごとに心に残ったところや、読後感につながっているところを感想をそえて書き出す。 ・読後感と、作品の秘密の関係を発表する。 ・友だちの発表を聞いて、自分の感じ方との違いなどをまとめる。	安房直子の作品 ☆『雪窓』 ☆『白樺のテーブル』 ☆『ねこじゃらしの野原』 ☆『花のおう町』 ☆『花豆の煮えるまで』
	この本、読もう一本は友だち ■B13-4『小学校国語の教科書に出てくる本4年生』			☆『ことわざ絵本』（五味太郎） ☆『100万回生きたねこ』（佐野洋子） ☆『森を育てる生きものたち』（谷本雄治） ☆『おじいちゃんのお話』（ウルフ＝スタルク） ☆『のんびりオウムガイとせつかちアンモナイト』（三輪一雄） ☆『森の地図』（阿部夏丸） ☆『見えなくてもだいじょうぶ？』（フランツ＝ヨーゼフ＝ファイニク） ☆『ほうきにのれない魔女』（茂市久美子） ☆『どうぶつ句会 どうぶつ句会オノマトペ』（あべ弘士） ☆『でんでんむしのかなしみ』（新見南吉） ☆『アンジェロ』（デビッド＝マコーレイ） ☆『チョコレート戦争』（大石真） ☆『教室はまちがうところだ』（藤田晋治） ☆『こんなふうにはたされる！』（ビル＝スレイヴィン、ジム＝スレイヴィン） ☆『木の奥のけんか』（岩城範枝） ☆『ながいながいペンギンの話』（いぬいとみこ） ☆『手で食べる？』